

氷壁技術研修会 参加報告（北海道山岳・スポーツライミング連盟主催）

2025年1月11日（土）～12日（日）層雲峡 大函覆道付近と錦糸の滝

登別山岳会参加者 AN・D、SW・D2名 HMSCAスタッフ（講師）4人、参加者8人 合計14人

AN・Dさんは3回目、SW・Dは2回目の参加である。昨年より降雪が少なく、幾分暖かく感じた2日間だった。

【1日目】朝7時に大函付近の駐車場に集合し、NAKA滝(18m)、尾滝(15m)、パラグフォール(25m)の滝の3か所を登る。



↑パラグの滝でAN・Dさんの上り。トップロープで下った。↑



↑左はパラグの滝でSW・D。

↑左のパラグの滝と右は他の参加者↑

登りごたえのある滝でAN・DさんとSW・Dの初日は4回上り下りした。

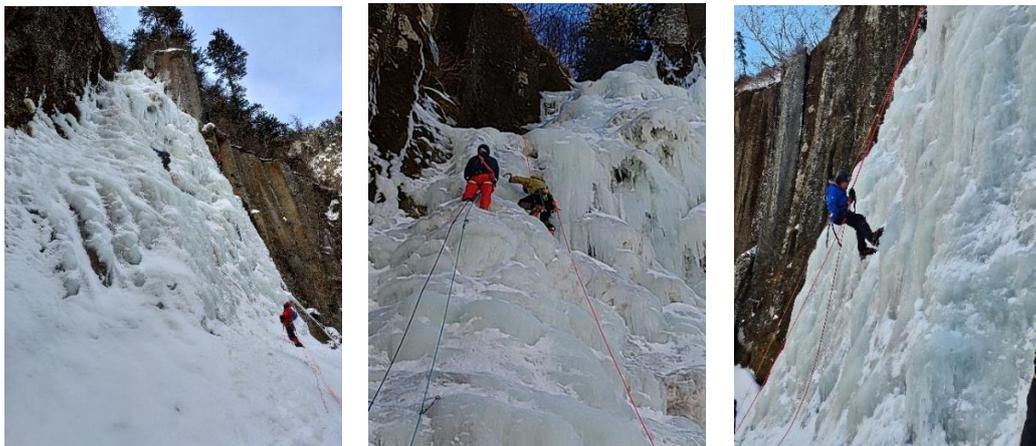


←尾滝でSW・D頂上到達



←NAKA滝の氷柱、

【2日目】 錦糸の滝 (60m)



中央右の茶のジャケットがAN・Dさんで↑左の赤パンツは別パーティの人、右がSW・Dの懸垂下降。

↓錦糸の滝全景。 右の写真はSW・Dが上部付近を上っている風景↓



アイスクライミングの場所として錦糸の滝は人気があるらしく、我がグループは先に場所取りをしていたので他のパーティがクライミングをする場所がなく、別の場所に移ったパーティもいた。



↑錦糸の滝の川を挟んで背中側を見ると柱状節理が見られた。 ↑中央が錦糸の滝と周辺。

右は尾滝の裏↑

アイスクライミングの上達のコツは「何度も体験すること」「ほかの人の登り方を参考にすること」だと思う。来年も参加したい。往復 600 kmの運転をしていただいたAN・Dさん、ありがとうございました。 (記録SW・D)